

良食 多収米の決定版

大粒ダイヤ

農林水産省品種登録
出願番号 第 28472 号



1. 大粒ダイヤについて

2013年に農林水産省における品種比較により、新品種としての認定を頂戴し、2014年から経済生産が可能となりました。

この品種を導入する事により、生産性が向上し収穫量が増して、作り手の収益向上に繋がります。

また、買い手側から見ても、反収量アップにより、購入単価を抑制する事ができます。なおかつ、食味においては「コシヒカリ」以上のインパクトを与える事が出来ます。なぜなら、大粒という他品種では持合せない固有の特長があるからです。

「日本の農業」お米作りが大きく変革し、低価格時代に入っても作り手や買い手にも十分な対応ができ、消費者が豊かな食卓を囲うお米が出来るのではと祈願しております。

是非、導入のご検討をよろしくお願い申し上げます。

2. 来歴

2004年	「夢ごちち」×「ホシアオバ」交配（中交 04-5）
2005年 冬	F1 の養成
2005年 夏	F2 集団栽培
2006年 冬	F3 集団栽培
2006年 夏	F4 集団栽培および個体選抜
2007年	F5 系統栽培および個体選抜
2008年	F6 系統群栽培
2009年	「N系 59」の系統名で収量試験
2013年	品種登録の出願（2013.8.29）【出願番号 第 28472 号】
2014年	品種登録出願の公表（2014.5.15）

3. 品種の特徴

種類・品種	水稻うるち・大粒ダイヤ	
栽培適地	東北南部以南	
用途	食用	
早晚性	東北…晩、北陸・関東・東山・東海…中、近畿・中国・四国…早～中、九州…早	
稈長	長	
草型	穂重	
耐倒伏性	強	
耐冷性	中	
耐病性	いもち病	極強
	縞葉枯病	無
玄米の見かけの品質	上	
収量	多収 「日本晴」に比べ2割程度多収※ 平均反収：11俵※	
玄米粒形	大粒（玄米千粒重：28g※）	
食味	ほど良い粘りの極良食味	
栽培上の注意	穂発芽しやすいので刈取り時期に注意すること。 いもち病耐病性は変化することがあるので注意すること。	

※ 栽培試験の結果です。内容を保証するものではありません。

4. 栽培のポイント

<目標収量：750kg/10a>

穂数：360本/m²、籾数：100粒/穂、登熟歩合：75%、玄米千粒重：28g

【推奨施肥体系】

基肥： 3kg-N/10a

分けつ肥： 2kg-N/10a （第6葉抽出期、移植後20～30日頃を目安）

穂肥①： 3kg-N/10a （幼穂1mm、出穂23日前頃を目安）

穂肥②： 3kg-N/10a （幼穂40mm、出穂10～15日前頃を目安）

トータル： 11kg-N/10a

※ 「大粒ダイヤ」は、茎が太く倒伏しにくいので、多肥施用が有効です。

※ 省力化の場合、基肥・穂肥とも緩効性窒素配合タイプを検討する。

※ 一発剤の場合は、穂肥溶出時期のコントロールが難しいので、化成肥料との併用を検討する。

（一発剤：6～8kg-N/10a + 化成肥料：3～5kg-N/10a）

※ 食味を優先する場合は、穂肥を1回にして施肥量を減らす事等を検討する。

- いもち病耐病性はあるが、病害虫の基本防除は実施する。
 - 多肥施用による紋枯病リスクがあるため、薬剤防除（箱処理剤等）も検討する。
- 播種時は発芽を揃えるために、しっかりと吸水させる。
 - 浸種時積算水温：120℃以上
- 苗を徒長させないように温度管理する。
 - 徒長させると初期分けつが出にくくなり、茎数の確保が難しくなる。
- 分けつが少ないので、栽植密度を確保して茎数（＝穂数）を確保する。
 - 栽植密度：60株/坪（18株/m²）、5本/株植えを目安とする。
 - 風乾種籾150g/箱を目安に播種し、育苗箱24箱/10aを使用する（3.6kg/10a）。
- 活着後は浅水管理にして水温を高く維持し、初期分けつを促進させる。
 - 良質茎：20本/株（360本/m²）の確保。
- 茎数確保後は中干しを行い、後半の稲の活力を高めて、籾数を確保する。
 - 籾数：100粒/穂の確保。
- 出穂期は「日本晴」よりやや早く、成熟期は「日本晴」と同等。
- 間断冠水を励行し、登熟環境を良くする。
- 穂発芽はしやすいが、倒伏等が無ければそれ程問題ではない。
- 大粒で、登熟がややばらつくため、早刈りは避ける。

5. 試験栽培データ

(1) 現地収量調査データ 2013年（平成25年）

現地収量調査データ 2013年（平成25年）

品種	大粒ダイヤ				
	埼玉県	埼玉県	栃木県	福島県	平均
圃場					
稈長 (cm)	105.3	97.9	104.4	98.0	101.4
穂長 (cm)	20.0	19.4	20.4	21.2	20.3
1株穂数 (本/株)	20.7	18.2	19.0	19.4	19.3
1穂籾数 (粒/穂)	98.1	82.5	120.8	116.3	104.4
栽植密度 (株/m ²)	18.1	18.3	17.9	15.4	17.4
m ² 当穂数 (本/m ²)	375	332	339	300	337
m ² 当籾数 (粒/m ²)	36,788	27,390	40,997	34,890	35,016
登熟歩合 (%)	67.0	78.2	66.7	69.7	70.4
千粒重 (g)	27.9	28.1	27.5	28.6	28.0
10a当収量 (kg/10a)	686	602	754	693	684

(2) 生産力検定データ 2011年（平成23年）～2013年（平成25年）

生産力検定データ 2011年（平成23年）～2013年（平成25年）

大粒ダイヤ/日本晴	5月中旬移植	6月中旬移植	平均
2011年（平成23年）	127%	117%	122%
2012年（平成24年）	110%	132%	121%
2013年（平成25年）	127%	114%	121%

※ 日本晴との比較（圃場：埼玉県）

(3) 比較栽培試験データ

(3) - 1 比較栽培試験データ 2009年（平成21年）

比較栽培試験データ 2009年（平成21年）

品種	大粒ダイヤ	日本晴
移植期	5月14日	5月14日
出穂期	8月5日	8月8日
成熟期	9月25日	9月27日
稈長 (cm)	103.7	89.3
穂長 (cm)	20.6	20.9
穂数 (本/m ²)	325	388
籾数 (百粒/m ²)	300	314
千粒重 (g)	27.2	22.1
収量 (kg/10a)	696	650
いもち病耐性	極強	中

※ 圃場：埼玉県（4本植え） 基肥：5kg-N/10a 穂肥：2kg-N/10a

(3) - 2 比較栽培試験データ 2010年(平成22年)【異常高温登熟年】

比較栽培試験データ 2010年(平成22年)【異常高温登熟年】

移植時期	5月中旬移植		6月中旬移植	
	基肥：5kg-N/10a 穂肥：2kg-N/10a		基肥：5kg-N/10a 穂肥：3kg-N/10a	
品種	大粒ダイヤ	日本晴	大粒ダイヤ	日本晴
移植期	5月18日	5月18日	6月17日	6月17日
出穂期	8月7日	8月11日	8月18日	8月21日
成熟期	9月16日	9月25日	9月25日	10月7日
稈長 (cm)	95.7	82.4	78.2	72.3
穂長 (cm)	19.9	19.9	17.7	20.6
穂数 (本/m ²)	360	379	296	347
1穂粒数 (粒/穂)	75.9	72.6	64.3	67.7
m ² 当粒数 (百粒/m ²)	274	275	190	235
稈の細太	やや太	中	—	—
稈の剛柔	中	中	—	—
粒着密度	やや疎	やや疎	—	—
芒の多少・長短	稀・極短	極小・極短	—	—
耐倒伏性	強	やや強	強	やや強
玄米重 (kg/a)	60.3	47.0	44.2	44.9
比較比率 (%)	128	100	98	100
千粒重 (g)	25.8	20.4	27.7	23.0
アミロース含量 (%)	16.3	15.4	17.2	17.2
タンパク質含量 (%)	6.0	5.5	6.1	5.5
食味推定値	90	84	88	84
葉もち抵抗性	極強	中	—	—
穂発芽性	易	中	—	—

※ 圃場：埼玉県(4本植え)

※ アミロース含量、タンパク質含量、食味推定値：クボタ社製食味計による分析結果

※ 良質粒歩合：静岡精機社品質判定機による分析結果

以上

- 種苗法上の登録出願品種(出願番号：第28472号)です。無断で種苗の育成・譲渡・自家採取等を行うことを禁止します。
- 栽培は日本国内に限定しております。無断で海外に種子を持出す事を禁止します。
- 法律に基づく表示を除き、販売の為に無断で「大粒ダイヤ」の表示等を行う事を禁止します。
- 種子の本質上100%の純度は望めません。また、育成条件により結果が異なりますので、種子代以上の補償は致しかねます。